

知床の窓から見えるもの

2014年3月17日（月曜日）

「陸の孤島 らうす」

写真提供：「民宿 とおまわり」

2月中旬のことです。らうすは吹雪に見舞われました。ここまでひどい吹雪は私も経験したことがなく、まさに「ホワイトアウト」の世界。これはなかなかの驚きでした。その時は国道334号線も羅臼町幌萌町から標津町まで閉鎖されバスも宅配便もすべての車は行き来できなくなりました。これが「陸の孤島」なのか・・・と実感。外を見てもまるで目に白い紙をべったり貼ったように何も見えないし、まるで方向もわからない世界で信号も全く見えません。

らうすの家庭には大型冷蔵庫の他に大型冷凍庫があるようです。物流がストップすると町内の店舗に残っている食料品などもだんだん減ってきます。セイコーマート（北海道のコンビニ）の商品棚もスカスカになります。ですから日頃から家庭の冷凍庫に食料を多めに蓄えているのでしょう。

診療所の外来に患者さんは来られず、診療所職員も自宅に帰られなくなるので、その日は午後より休診。翌日まで暴風雪は続き、私の住まいもずっと揺れていて飛行機に乗っている気分でした。翌日診療所は臨時休診。私は自宅待機でしたが、何回窓から外を見てもただただ真っ白で、少し風が弱くなったときに見えたのは動けなくなってしまった大型トラックの姿。

実はこの時、瞬間最大風速は35メートルくらいあったようです。テレビのニュースでは網走市の様子が映されていましたが、実はらうすの状況を取材したくても報道陣が入って来られず、これはまさに大自然の猛威が日本の報道に勝ったすごい日なのでした。

この文章を書いているのは3月6日。本日また暴風雪警報が出ています。私は訪問診療の同行・訪問看護の業務があったのですが、いったん診療所から訪問先に車で向かったものの、まったく何も見えず真っ白の世界で行くことを断念しました。再び「陸の孤島 らうす」状態に入りました。私のアパートの冷蔵庫にはたしてどの位の備蓄食料があったかな？と想いをめぐらせているところです。おそろしや～。

今回の報道陣は前回の反省を生かして暴風雪が猛威をふるう前にらうす入りしていたことは言うまでもありません。ですから皆さん、テレビでらうすの様子をご覧になれたと思います。すごかったです！！！！